

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541
 <e-mail> taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ> http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年3月10日(火) 第197号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

「季節要求」で政党、政府へ要請

通常国会へ初の対応。要求実現強く迫る!



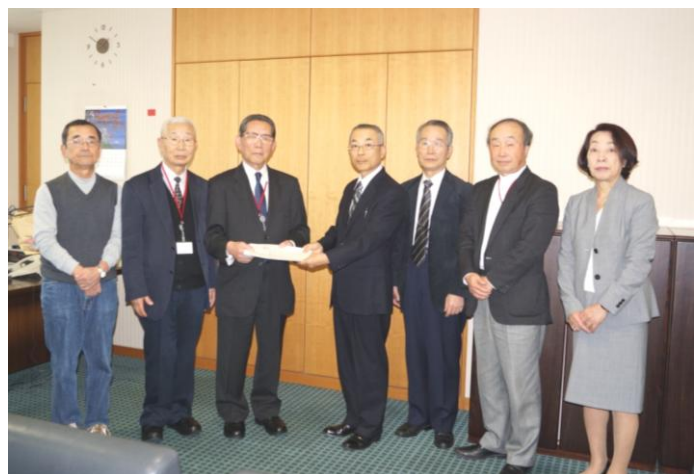
▲細野政調会長に要請書を手渡す阿部会長(左から4人目)。写真右から太田常幹、山井衆議院議員、柳田参議院議員、細野政調会長。左から、野田次長、菅井次長、羽山事務局長。(2月24日午前、永田町の民主党本部8階で)

退職者連合は、現在開会中の第一八九通常国会に向けて、①公的年金制度②地域包括ケアシステム③医療保険制度④介護保険制度の改善などを柱とする「季節要求」(後掲)の実現をはかるため、二月二四日に民主党、同日午後からは厚労省に、また三月二日には社民党にそれぞれ要請しました。

民主党への要請

民主党要請は、二月二四日(火)午前十時から永田町の民主党本部八階で行われました。退職者連合から阿部保吉会長、羽山治美事務局長、菅井義夫次長、野田那智子次長、太田敏夫常任幹事(年金専門委員長)の五名が出席。民主党からは、細野豪志政策調査会長、柳田稔企業団体対策委員長、山井和則厚労部門会議座長が対応しました。

要請の冒頭、阿部会長は「常識もない、品格もない総理を相手に「苦労さま」と挨拶。衆院予算委員会で安倍総理を厳し



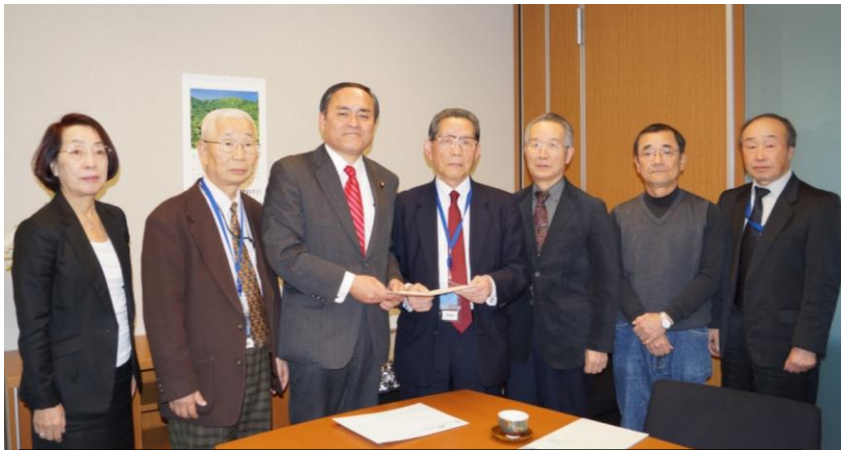
▲宮野総括審議官に要請書を手渡す阿部会長(左から3人目)。写真右から野田次長、太田常幹、菅井次長。左から、川端常幹、羽山事務局長。(2月24日午後、厚生労働省10階で)

く追及する民主党の労をねぎらいました。続けて阿部会長が要請内容を説明。その中で「デフレ化のマクロ経済スライド発動は絶対に許せない」として民主党の奮闘を強く求めました。

これに対して細野政策調査会長は「幅広い分野について、しっかり受けとめる。季節要求は、我々の主張しているのと重なる。社会保障については、安倍さんは関心がない」と述べ、引き続き政府を追及していくと応えました。

厚労省への要請

午前中の民主党要請に引き続き、一四



▲吉田党首に要請書を手渡す阿部会長(右から4人目)。写真右から太田常幹、川端常幹、菅井次長。左から、野田次長、羽山事務局長。(3月2日午後、永田町の参議院議員会館3階で)

時からは、厚生労働省要請が行われました。霞が関の第五合同庁舎の十階にある厚生労働省の宮野甚一総括審議官室で行われた要請には、退職者連合から阿部保吉会長、羽山治美事務局長、菅井義夫次長、林道寛次長、野田那智子次長、川端邦彦常任幹事(医療・福祉専門委員長)、太田敏夫常任幹事(年金専門委員長)の七が出席。会議の冒頭、阿部会長は宮野総括審議官に要請書を手渡し、説

社民党への要請

明するとともに、季節要求の内容を詳しく述べ、その改善を求めました。その後、宮野総括審議官からも各項目にわたって回答がありました。帰り際に宮野総括審議官が「社会保障の財源が厳しく、(政策を)公平に実施していかなければならない。ご理解を」と述べ、「公平、公正が大事」と阿部会長が応じる場面もありました。

社民党への要請は、三月二日(月)一六時半から参議院議員会館三階の吉田

忠智党首の部屋で行われました。退職者連合からは、阿部保吉会長、羽山治美事務局長、菅井義夫次長、林道寛次長、野田那智子次長、川端邦彦常任幹事(医療・福祉専門委員長)、太田敏夫常任幹事(年金専門委員長)の七名が出席。阿部会長の要請の趣旨説明の後、意見交換を行いました。吉田党首からは、「(退職者連合の)年金、医療・介護の要求内容は、社民党とまったく一致している。国民皆保険制度はしっかり守らなければ」と力強く述べ、退職者連合と連携して闘う決意を明らかにしました。

1. 公的年金制度について
 - (1) マクロ経済スライドでの名目下限方式の堅持。
 - (2) 基礎年金拠出期間延長、受給開始年齢選択幅拡大を検討。
 - (3) 年金積立金運用
 - ① 公的年金積立金は、被保険者の利益のため運用すること。
 - ② 株式投資比率拡大方針を撤回し、国連が呼びかけた「社会責任投資」の推進。
2. 地域包括ケアシステムについて
 - (1) 統合された医療・介護ケアシステムとネットワークの確立。
 - (2) サービス提供体制の整備。
 - (3) 人の育成と確保。
 - (4) 地方自治体・事業者・市民との合意形成での推進。
3. 医療保険制度について
 - (1) 公的国民皆保険制度の堅持。「混合診療」は導入しないこと。
 - (2) 後期高齢者医療制度にかわる新たな制度を作ること。
 - (3) 国保は、都道府県と市区町村連携による保険者機能の強化。
 - (4) 後期高齢者支援金総報酬割化の実施。
 - (5) 受診頻度の少ない加入者に保険料軽減を実施しないこと。
4. 介護保険制度について
 - (1) 要支援の新総合事業への移行撤回、予防給付の復元。
 - (2) 新総合事業移行による「基本チェックリスト」の撤回。
 - (3) 重度化防止に向け、中・軽度者サービスへの介護報酬の改善。
 - (4) 医療・介護サービスが利用できる暮らしの場の整備・充実。
 - (5) 従事者の処遇の改善と事業者ごとの人件費比率の公開。
 - (6) 認知症高齢者に起因する損害で社会的賠償制度の新設。
 - (7) 給付抑制で「国の締め付け」「自治体の暴走」が生じないように。
 - (8) 老人福祉法による施策の再整備・充実。
5. 生活保護制度について

生活保護基準の復元。住宅扶助・冬期加算の切り下げ撤回。
6. 税制について
 - (1) 年金課税では、国民の合意形成を図ること。
 - (2) 法人税の実効税率を引き下げないこと。



第9回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

どなたでも応募できます

絵画 | 写真 | 書道 | 俳句 | 川柳

作品募集

募集 (俳句・川柳) | 2015年2月1日(日) - 5月15日(金)

期間 (絵画・写真・書道) | 2015年4月1日(水) - 5月15日(金)

- ◆賞 俳句・川柳 | 連合大賞・ILEC大賞 各5万円 ほか
- 絵画・写真 | 連合大賞・ILEC大賞 各10万円 ほか
- 書道 | 連合大賞・ILEC大賞 各10万円 ほか

- ◆主催 連合、(公社)教育文化協会
- ◆お問い合わせ (公社)教育文化協会(略称: ILEC) TEL: 03-5295-5421

詳しいことは [幸せさがし文化展](#)